

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	453	保育所管理運営事業	会計	01	一般会計
基本施策	8	子どもを産み育てやすい環境をつくる	款	03	民生費
担当部課名	島ヶ原支所 健康福祉課		項	04	児童福祉費
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	目	04	保育所費
		0595-59-2163	細目	101	保育所管理運営事業
			細々目	01	保育所管理運営事業

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
・就労等により、保育を必要とする就学前児童とその保護者 ・事情により、一時的に家庭保育が困難となる就学前児童とその保護者 ・就労形態により、保育時間を延長する必要がある保護者 ・島ヶ原保育所の設備	・保護者が安心して就労することができる。 ・保護者の育児に対する精神的、肉体的負担を軽減することができる。 ・緊急的、一時的な事情により家庭保育困難となった状況を解消できる。 ・施設の設備が正常に機能することにより、業務に支障をきたすことなく、児童を安全に保育することができる。
本年度事業内容 ・入所児童の保育事業 ・一時保育事業 ・延長保育事業 ・保育所設備の保安管理業務委託	
運営主体 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等 児童福祉法、伊賀市保育所条例、伊賀市保育所条例施行規則、伊賀市延長保育促進事業実施要綱、伊賀市一時保育促進事業実施要綱
市内の類似施設	各公立保育所

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	7.33	8.33	8.33
人件費合計(A)	52,776	59,976	59,976
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	14,940	22,769	20,278
賃金	4,834	10,194	7,554
需用費	7,456	9,044	9,159
委託料	1,160	1,104	1,104
その他	1,490	2,427	2,461
合計(A+B)	67,716	82,745	80,254
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	1,226	1,554	1,500
受益者負担		5,391	5,000
その他特財	688	901	900
一般財源	65,802	74,899	72,854
上記①～③に関する特記事項	・正規職員7.33人中2人は調理員 ・臨時保育士常勤2人、非常勤1人、週休代替調理員2人		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
・入所申込み児童数	人	71	73	73			
・入所決定児童数	人	71	73	73			
・一時保育利用延べ人数	人	64	65	70			
・延長保育利用延べ人数	人	11	12	24			
・設備保守点検等委託数	件	9	8	8			
・修繕件数	件	4	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
・入所申込み児童数に対する入所決定児童数	・保護者の要望に応えられるだけの施設、保育体制を整えているかを判断する。	%	100 目標 ()	100	100
・一時保育利用登録者数の前年比(増減人数)	・一時保育を必要とする保護者に対し、どの程度周知でき、活用できているか。また、受入ができたかを判断する。	人	10 目標 ()	2	3

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・未満児の入所希望が急激に増加している。保護者のニーズに応じた保育を行うため、未満児の入所受入が可能な保育スペースの確保と保育士の配置が必要である。 ・緊急時や、育児にかかる負担解消のために一時保育を必要としている保護者が増加している。また、特に一時保育を希望する保護者は、未満児の保護者が中心であるため、未満児の入所に関する課題と同様の改善が必要である。 ・地域柄、核家族が少ないため、延長保育を必要としている保護者が少ないようである。しかし、利用者がいないということではないため、事業を縮小するのではなく、受け入れ態勢は整えておく必要がある。 ・施設の維持管理に関しては、施設、遊具ともに老朽化が進んでいるため、点検、修繕が必要である。

評価	必要性	4	事業を拡大実施する。 保育ニーズに応えるため、事業を拡充する。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A